

平成 28 年度 栗田保育園 「自己評価」

1. 園の保育目標

信学会の教育理念と教育・保育の目標のもと、無限の可能性を秘めている子どもたちが、集団生活を通して生き生きと過ごし、望ましい未来をつくり出す力を培うことを目標に保育をおこなう。

2. 本年度の重点目標

『心身共に 健康な子ども』

- ・ 育てたい子どもの姿
 - 1, 生活する力（基本的な生活習慣、食事、整頓・着替えなど）
 - 2, 人と関わる力（思いやり、意見を言う、意見を聞く）
 - 3, 学びの芽を培う（豊富な体験から、意欲、興味関心、好奇心を育む）

※ 詳細は事業計画書による。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	C
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	C
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	C
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・小学校接続交流をした南部小の先生方、交流した 5 年生の保護者から良い交流ができているという意見をいただいた。高学年生との交流希望にご理解いただいた南部小の先生方に感謝し、継続していきたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・重点を置いて取り組んだ地域交流で、七瀬町のシニア会の皆さんと多種多様な交流ができ、継続している。（七瀬西公園の芝植え・オープングレモニー・春秋の花壇作り・交流サロン・行事招待 etc）
- ・自然や文化にふれる行事として、『森の教室』『高校生力士とおすもう・もちつき』を実施し成果を得た。地域の皆さんや社会、高校生など異世代と積極的に交流する機会をもうけ、継続させていきたい。

※ 詳細は事業報告書による。